

【会議録】

主題 平成 28 年度第 2 回つくばみらい市障がい者支援協議会

- 日 時：平成 28 年 9 月 27 日（火）14：30～16：30
- 場 所：つくばみらい市役所伊奈庁舎 2 階会議室 3
- 出席委員：宮島孝明会長、伊藤勝江委員、大久保安雄委員、間宮正孝委員、遠藤光委員、片山とよ子委員、石澤昭博委員、岡野純子委員、飯村晴代委員、鈴木恭子委員、中村俊介委員
- 欠席委員：萱嶋拓雄副会長、竹内真理委員、監物輝子委員、安河内崇代委員
- 事務局：関俊明課長、境野紀子主査、塚田大輔主幹
（コンサルタント：(株)まち研 濱田守、佐藤恵祐）

▼議事

(1) つくばみらい市障がい者計画について

- ・アンケート調査結果の概要を報告する。
- ・団体ヒアリング及び各課調査の概要を報告する。
- ・つくばみらい市障がい者支援協議会部会での協議を報告する。（大久保委員）

【意見等】

・就労継続 B 型事業所など増えていると思う。しかし、重度の障がい者や知的障がい者はそれほど強い就労意欲があるわけではなく、人生を楽しみたいという考えもある。工賃向上が言われているが、毎日、同じ作業をして過ごすだけではなく、リラックスして人生を過ごせるようなサービスも必要である。

・市内に障がいの重い方の施設がない。障がい者を地域に戻そうというのであれば、施設を整えてほしい。軽度の方の事業所は多いが、重度の人のサービスは、まだ少ない。

・福祉避難所が 2 か所あるという記述があったが、どこにあるのか。どのような準備をしてあるのか。たどりつけないのではないかという不安はある。

(回答) 防災対策の話で、きらくやまふれあいの丘、保健福祉センターの 2 か所が福祉避難所として指定されている。バリアフリー化されている施設として指定されているが、発達障がいや知的障がい者に対応するといった場所として開設することにはなっていない。安心安全課の取り組み課題が多岐にわたっており、具体的な準備段階には至っていない現状である。

・重度心身障がいについて、今後、どういう法律になっていくか気になることもある。現在、雇用促進法によって企業が雇用するために環境づくりをしており、障がい者雇用は増えている。また、就労継続 B 型も議論になっているところであり、作業をして工賃をもらう人、趣味を生かしてゆっくりと過ごしていきたい人、それぞれを支援する必要があつて、それぞれ定義されなければならないが、今の制度で就労支援 B 型事業は、工賃向上が定められてしまっている。重度支援の在り方、65 歳以上の方の在り方などあるが、今、就労しているからよいというのではなく、その後の支援、事業を考えていかなければならない。

・つくばみらい市障がい者支援センター構想について、学校の統廃合で生じる空いた施設を利用することだが、具体的にはどうなっているのか。

(回答) 具体的には示されていない。

・子どもたちの少ない学校が対象になるのかなと感じていても、市から示されないと気をもんでいる。障がい者支援センターを作るにしても、それが決まらないと進まない。

(2) つくばみらい市職員における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領(案)について

・つくばみらい市職員における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領(案)を説明する。

【意見等】

・職員の対応要領の留意事項に(合理的配慮に当たり得る意思疎通の配慮の具体例)があるが、漢字にルビ(ふりがな)をふってある案内文など、知的障がい者にも分かりやすいことが必要と思う。

(回答) ご指摘について、参考にする。

・学校でも、外国の方などもいるので、読み仮名、ふりがな、又は口頭でしっかり伝えるようにしている。

・訪問看護師をやっているが、訪問看護の事業があまり知られていないと感じる。母親が点滴を打つためだけに、毎日、大学病院に通っていた方がいた。そこで、私たちが点滴を行うことになったが、その方は、このような訪問看護サービスがあることを知らなかった。事業のPRが必要と感じた。

(3) その他

→今後のスケジュール等、事務連絡を行う。

- ・第3回つくばみらい市障がい者支援協議会を11月上旬に予定する。
- ・11月21日に議会へ中間報告をする。
- ・12月の1か月をパブリックコメントの期間とし、11月25日の広報紙で周知する。
- ・第4回つくばみらい市障がい者支援協議会を1月上旬～中旬に予定する。

以上